

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木冷蔵冷凍センター新築工事	階数	地上2F
建設地	厚木市下依知字中河原686番外12筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし、法22条区域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2021年5月24日
敷地面積	11,176 m <sup>2</sup>	作成者	(株)小島組
建築面積	4,775 m <sup>2</sup>	確認日	2021年5月31日
延床面積	8,961 m <sup>2</sup>	確認者	(株)小島組



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

環境品質 G (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
当該地は、首都圏中央連絡自動車道(さがみ縦貫道路)の圏央厚木インターチェンジから直線約1.4kmに位置する市街化調整区域であり、工場単一用途(倉庫)の建築物を鉄骨造、2階建てにて計画した。		開発区域面積の25%以上の緑地を確保し、外周緑地の他、まとまった緑地エリアも設けることで、周辺環境と調和が図れるように配慮した。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
0	階高は3.9m以上。 倉庫部分床荷重は4500N/m <sup>2</sup> 以上。	0
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEI <sub>m</sub> =0.29、LED照明設備を導入している。	躯体と仕上材等が容易に分解可能とすることで、資材の有効活用に繋がるように配慮した。	LCCO <sub>2</sub> 排出率66%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される